



～自然を生かして～ 清瀬エコプロモーションってなあに？

清瀬エコプロモーションの取り組み

清瀬エコプロモーションは、平成24年度に公園や街路樹の整備などの市役所内での類似業務の一本化と委託費の削減を目的に組織された総務課営繕係を中心に行われています。その業務はけやき通りの街灯や街路樹の整備、枯木対策、児童遊園の草木の整備・遊具の補修、道路に流出した土の撤去、平成26年からはみつばちの飼育など・・・多岐にわたります。

市内の木々の伐採や清掃を行うと、伐採した枝や落ち葉、道路に流出した土などの産業廃棄物が発生します。産業廃棄物の処理費用は草や葉、枝で1 畧あたり約40 円、道路に流出した土などは1 立方畧で約18,000円ほどにもなります。これまで、多額の産業廃棄物の処理費用が発生し、その費用は年々増加の傾向にありました。営繕係が発足した当時、職員たちは考えました。



【産業廃棄物処分費の推移】

年度	処分費(円)
平成23年	4,809,000
平成24年	5,821,200
平成25年	4,728,098
平成26年	0
平成27年	0
平成28年	0

一仕事をすればする程、費用がかかってしまう・・・

産業廃棄物となっている伐採した木や枝、処分する落ち葉や土を活用することはできないだろうか・・・

清瀬の豊かな自然をもっと生かすことはできないだろうか・・・

そこで・・・副産物を加工してリサイクルし、産業廃棄物の処理費用の削減を目指す

清瀬エコプロモーションを開始しました！

資源を生かす 一副産物を加工・リサイクルして、有効活用！

産業廃棄物として処分されていた伐採した枝や落ち葉を、ウッドチップや腐葉土などに加工し再利用したことで、処分費を削減！平成26年度以降の産業廃棄物の処理費は0 円となりました。加工したウッドチップや腐葉土は市民の皆さんに販売しています。

◆ウッドチップ・清瀬桜チップができるまで



①市内の雑木林の樹木や街路樹を伐採・せん定した木々を



②直径10センチ程度の大きさに切って、粉碎機へ



③完成！

ウッドチップは雑草除けや暑さ対策などに使用します。

清瀬桜チップは市内の小・中学校、地域市民センターなどから倒木防止などのために伐採・せん定された桜の木から作られます。

粉碎後、天日で乾燥させて完成です。燻製などに使用します。昨年12月には消費生活センターで清瀬桜チップを使用して燻製を作る講座が行われました。

◆資源を生かした市役所の屋上緑化

市内から発生した資源をリサイクルし、市役所の屋上を緑化しています。



道路に流出した土



ウッドチップ



給食の残菜で作った肥料

◆けやき通りのケヤキを郷土博物館で再利用



台風で倒木したけやき通りのケヤキは職員の手によって、美しい木目を生かした4つのローテーブルに再生され、郷土博物館の休憩スペースで使用されています。郷土博物館にお越しの際には、ぜひご利用ください。

自然を生かす 一農業を活性化し、地域ブランドを創出！

◆5年目の東京清瀬市みつばちプロジェクト

市役所屋上での養蜂事業「東京清瀬市みつばちプロジェクト」は、清瀬の基幹産業である農業の活性化、花のあるまちづくり事業の拡充、地元ブランドの創出を目的に平成26年3月に始まりました。

また、はちみつの原料となる蜜源植物の無料配布会では、市内農家と協力し野菜と花の販売会を同時開催しています。



(右・左) 採蜜の様子

◆Kiyohachi(清瀬市役所産はちみつ)の活用

市役所のみつばちが、市内の花の蜜を集めて作ったはちみつ(Kiyohachi)は、採蜜体験会や職員によって採蜜されます。

その後、市内公立小・中学校の給食の材料や市主催の料理講座、ふるさと納税の返礼品など、さまざまな場面で活用される他、苗木の無料配布会など市のイベントで販売しています。

恵を生かす 一身近な清瀬の自然の恵をいただく

市役所や小・中学校など市の土地にもさまざまな自然の恵みが育ちます。それらのなかにもそのままになってしまっているものや捨てられてしまっているものがありました。



下宿の市有地に植栽されている鬼ぐるみ



市役所本庁舎で育ったシークワサー



市役所産ぎんなん
主に市内小・中学校の校庭のぎんなんです。落ちた実を触ると手がかぶれますが、洗えば美味しくいただけます。



ゴーヤ(にがうり)
市役所のグリーンカーテンのゴーヤ。みつばちのポリネーションにより豊作となりました。



養蜂作業



みつばちとひまわり

◆みつばちと清瀬の農業

みつばちは環境指標生物で、農業に汚染された土地に住むことができません。みつばちが活発に活動している清瀬では地元農業が健全に営まれ、安全な野菜が生産されているという証明にもなります。

また、みつばちによるポリネーション(受粉活動)は、農作物の実りを豊かにします。



(上) 中学校給食のきよはちゼリー



(上) Kiyohachi



(左) 親子採蜜体験会で巣箱を観察する子どもたち

帯広畜産大学主催で養蜂事業とエコプロモーションの講演会を行いました

昨年12月15日、帯広畜産大学主催で清瀬市の養蜂事業に関する講演会が開催され、清瀬市総務課の職員2人が講演を行いました。

この講演会は帯広畜産大学の学生のなかから、大学内でみつばちを飼育し、みつばちの研究、はちみつによる地域の活性化に挑戦したいという提案があったため、先行事例として清瀬市で展開する「東京清瀬市みつばちプロジェクト」の取り組みを紹介することとなり、実現しました。

講演会には学生、大学関係者を始め、商工会、帯広市民の方々にもご参加いただき、養蜂事業に加え、天然資源を有効活用するエコプロモーションについても紹介しました。



帯広での講演を行う職員

お年玉プレゼントクイズ&アンケート

清瀬エコプロモーションクイズと市報アンケートに答えていただいた方のなかから抽選で、清瀬市役所産はちみつ「kiyohachi」(80㍑)を5人、「清瀬市ガイドブック」を20人にプレゼント！(結果は発送をもって代えさせていただきます。)

◆清瀬エコプロモーションクイズ

Q1.清瀬市役所産はちみつの名前は？
ア.hachikiyo イ.kiyohachi ウ.kiyomitsu

Q2.清瀬桜チップの主な使い方は？
ア.燻製 イ.雑草除け ウ.暑さ対策

Q3.次のうち清瀬市役所で販売されたものは？
ア.ぎんなん イ.きんかん ウ.かんぱん

◆市報アンケート

Q1.市報はどの程度読みますか？
ア.毎号読む イ.ときどき読む
ウ.ほとんど読まない

Q2.紙面の文字の大きさはどうですか？
ア.大きい イ.ちょうど良い ウ.小さい

Q3.これまでの市報で良かった企画があれば教えてください。

Q4.市報きよせで取り上げて欲しい内容や企画を教えてください。

Q5.市報に関するご意見やご感想を教えてください。

対象 市内在住の方

応募方法 1月15日(必着)までに郵送またはメールに件名(「お年玉プレゼント」)・クイズの答え・アンケートの回答・住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、〒204—8511中里5—842 清瀬市秘書広報課広報広聴係 ☎042・497・1808 〓kouhou@city.kiyose.lg.jpへ



松山緑地保全地域